

次いで国際社会の秩序だ。バイデン大統領は米中の対立は「民主主義と専制主義との闘い」と位置付け

たなか・ひとし 1969年京都大学法学部卒後、外務省入省。経済局長、アジア大洋州局長などを経て2002年から政務担当外務審議官。05年退官し、10年から現職。日本国際交流センターのシニア・フェローを兼務。著書に「日本外交の挑戦」「外交の力」「見えない戦争」など。

たなか・ひとし 1969年京都大学法学部卒後、外務省入省。経済局長、アジア大洋州局長などを経て2002年から政務担当外務審議官。05年退官し、10年から現職。日本国際交流センターのシニア・フェローを兼務。著書に「日本外交の挑戦」「外交の力」「見えない戦争」など。

たなか・ひとし 1969年京都大学法学部卒後、外務省入省。経済局長、アジア大洋州局長などを経て2002年から政務担当外務審議官。05年退官し、10年から現職。日本国際交流センターのシニア・フェローを兼務。著書に「日本外交の挑戦」「外交の力」「見えない戦争」など。

山陽時評



日本総合研究所国際戦略
研究所理事長

田中 均

コロナ後の米中関係と日本

東アジアの枠組み強化を

力も衰えた。中国は巨大経済圏構想「一帯一路」や「ワクチン外交」で国際影響力を飛躍的に拡大した。米中関係は民主主義と共産主義という統治制度の違いはあったが、敵対しているわけではなかった。米中の間には「ソ連に対抗する」という戦略的共通項があったから友好的な関係が構築された。今日も戦略的な利益の共有はある。最も明確であるのは地球温暖化対策だ。米中も中国もCO₂の大排出国であり、米中関係は同盟国や友好国

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら

米中の協力がないと問題解決はない。北朝鮮非核化もそうだろう。米日韓は北朝鮮の核を脅威として捉えるが、それは中国も同様だ。中国が欲するのは経済拡大に専念できる東アジアの戦略的安定であり、北朝鮮の核が韓国や日本でも核保有の議論を惹起すると考えており、戦略的不安定につながる。ミャンマー情勢も場合によっては共通利益がある。中国はマラッカ海峡を通ら